

平成22年度

## 自己評価及び外部評価結果

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1493200156	事業の開始年月日	平成20年7月1日	
		指定年月日	平成20年7月1日	
法人名	株式会社ウイズネット			
事業所名	グループホーム みんなの家 横浜金が谷			
所在地	( 241-0812 ) 横浜市旭区金が谷471-1			
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護	登録定員	名	
	<input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	通い定員	名	
定員計		18名		
		ユニット数	2ユニット	
自己評価作成日	平成23年1月20日	評価結果 市町村受理日	平成23年5月10日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

ホームを自分の家と思えるようにアットホームな雰囲気作りと地域とのふれ合いの機会を多くし、社会の一員であることの喜びを分かち合いながら生活をしております。
--

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部		
所在地	神奈川県横浜市西区南浅間町8-22-207		
訪問調査日	平成23年2月8日	評価機関 評価決定日	平成23年4月28日

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>◆職員の利用者理解 玄関を入ると全職員の顔写真の紹介が貼ってあるが、開所以来ずっと勤務している職員が多く利用者や家族とは顔なじみになっている。利用者の表情、しぐさの読み取りの出来る職員もいる。養命酒を飲む人、居室で寝酒にビールを飲む人、居室に家具を沢山持込み、自分の家に見立てて暮らす人など1人ひとりのライフスタイルを職員はよく理解し、これを支えている。</p> <p>◆健康保持への様々な医療系専門サービス 提携医としてから内科医、歯科医が月2回往診して診ているほか、訪問看護や歯科衛生士の口腔ケアが月4回入っている。また、系列治療院からの訪問リハビリも受入れている。個人で訪問マッサージを頼んでいる人もある。</p> <p>◆自然に囲まれ、地域とつながったスローライフ ホームは畑や里山が点在する場所にあり、毎日自然と触れ合いながら散歩をしている。散歩の途中で挨拶を交わすミニ菜園の人たちは利用者の様子を気遣い、花や収穫物を届けてくれたり休憩していったりの間柄である。</p> <p>&lt;事業所が工夫している点&gt;</p> <p>◆ケアプランを確認しやすい生活記録ファイル 個人別3ヶ月目標のファイルと、毎日の生活記録ファイルを左右に置き、毎回、確認しながら記録をつけている。</p>
---

### 【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	グループホームみんなの家・横浜金が谷
ユニット名	1F

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3, 利用者の1/3くらいの
			4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまにある
			4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3, 家族の1/3くらいと
			4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまに
			4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの広がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3, あまり増えていない
			4, 全くいない
66	職員は、活き活きと働けている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3, 職員の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3, 家族等の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	ミーティング時、理念を再確認し職員が理念を共有できる様目に入る場所に理念を掲示し理念に基づき利用者一人ひとりの変化に合わせ心を理解できる様共有し実践している。	・法人理念と、開所時に職員で作成し、利用者が清書した事業所理念「心を添えて」を事務室に掲示している。 ・月1回のミーティングで理念を確認し、利用者への優しさを心掛けている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	散歩に出かけ挨拶、会話等交流。また定期的にボランティアのお菓子作りや民謡の行事計画をたて交流を図り、地域活動のお祭りなどにも積極的に参加し交流を図っている。	・利用者の地域との結びつきを重要視し、町内会に加入して夏祭り、神社祭礼などに出掛けている。 ・散歩で出会う地域の人たちと親しく交流し、事業所への来訪もある。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域のお祭りなどに参加したり、近くの動物園に行く際、地域の関係者と接する折に活かされていると思う。又、ホーム長自ら認知症の理解の活動に参加し近隣のスーパーでピラ配りをしている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議の中での報告意見を聞き、話し合い、再確認しながら向上に活かしている。	・運営推進会議は年6回開催し、川井地域包括支援センター、町内会副会長、民生委員、家族が出席している。 ・会議では事業報告、防災協力などが議題となっている。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議への出席依頼などホーム長が連絡を取り協力関係を築きながら、常に連帯体制に努めている。また市の会議、研修に参加している。	・都筑区担当職員が2、3カ月毎に来訪し、必要時は電話で連絡している。 ・市福祉局の意見交換会や虐待防止研修に参加し、区からの依頼で市大看護学生の見学を受入れている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	入居時、御家族様から管理と安全確保の為玄関の施錠は必要不可欠である事の下承を得て施錠している。しかしそれ以外、ミーティングを重ね指導を受けながら、話し合い身体拘束をしないケアに心がけ、常に再確認する様取り組	・マニュアルがあり、事業所方針の「身体拘束ゼロ推進」を掲示している。 ・月1回法人の安全対策委員会に参加し、更に毎月事業所内で身体拘束廃止委員会を開催して防止に努めている。拘束事例はない。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修にて、指導教育を受け学び、話し合い見過ごされることのない様、虐待防止の提示も、ホーム内にし注意を払い防止に努めている		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	定例ミーティングや、学習会で学び、話し合い、必要に応じ活動できる様取り組み支援している。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	ホーム長、対応管理なるもわかる範囲で対応に努めホーム長と連携を取り対応に努めている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご利用者の訴えを毎日聞ける様努力し、定例家族会にて意見交換し運営に反映させている。また意見箱も設置し常に努力している。	・法人で年1、2回「心の声アンケート」の実施や、家族会（年6回開催）の中で意見や要望を吸収し、運営に反映させている。 ・家族の要望応えて認知症講座を開催した。	

みんなの家・横浜金が谷

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	定例ミーティングを実施し誰もが忌憚なく意見が言える関係を築ながら、提案を出し反映させている。また意見箱設置あり。	・職員はホーム長をパイプ役と理解し、日常業務の中や、毎月のミーティングで意見交換をし、個人面談も年2回受けている。 ・出された職員提案は、事業所運営に反映している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	解らない事は、遠慮なく聞ける環境にあり、向上心を持って働ける様努めていると思う。しかし、給与面では、資格の有無の明確がない。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修案内の提示や参加を勧めている。また定例ミーティング時、事業所内研修があり指導教育をうけている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	区役所や同業者主催の勉強会の参加と同業者との交換研修実施しサービス向上させていく取り組みをしている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用者様を常にわかってほしい、分かった事を利用者様に伝え、共感しようとする姿勢とコミュニケーションを大切にし変化を見逃さない様支援し、笑顔とやさしい言葉かけで安心感を持っていただける		

みんなの家・横浜金が谷

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	悩み不安などの心情を受けとめ耳を傾け礼儀正しい対応と、誠実さを持って接し良い関係を作る様努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご家族様とのコミュニケーションに努め、日常生活習慣の尊重と残存機能の活用など見極めケアプランに反映、他のサービス利用など含めた対応に努力し、常に見直検討にも努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	目の高さを対等に接し対等な関係を維持する為個人的な関係にならない努力と利用者の考えや習慣の理解すべく努めている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご利用者様と御家族の絆を大切に信頼関係をつくり報告連絡相談しながら、ご利用者のありのままを受けとめ理解に努め、支えていく関係を築いていける様家族会時等に努力している		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	日常生活習慣の尊重支援には、努めているも馴染みの人や場所となると支援に限界あり。しかし誰でも来設出来る様にしている。	・入居時に家族や本人から生活歴を聞く中で、本人の馴染みの場所や人も聞いている。 ・入居後、日常の会話で故郷の食物や魚を聞いて、楽しむようにしている。	

みんなの家・横浜金が谷

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	プライバシー保護しながら相性の理解し、ご利用者様の間に入り言葉かけと働きかけをしながら、一人ひとりが、穏やかに安心して孤立しない様に支援に努めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	郵便物の転送他、年賀状など出し努めている。主にホーム長対応。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	生まれ育った環境と生活の仕方や習慣、生き方、考え方、一人ひとりの求めているものを、理解し努めている。ご利用者様個々のニーズに応じて検討（思いや意向）	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人ひとりの思いを把握するために、わかりやすいように会話は短く区切って話すようにしている。</li> <li>会話が困難な利用者には、表情、しぐさから読み取っている。</li> </ul>	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用者の方との日常の話の中で、把握しながら努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日常生活習慣の尊重とご利用者様が出来る力や、持っている能力の維持を把握。様子を見ながら、声かけし体調管理と共に心の状態など把握に努めている。		

みんなの家・横浜金が谷

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	定期的にご利用者の充足状況を点検し状況を見ながら必要に応じて、対応、確認、反映（スタッフミーティング時等実施）	・介護計画は3カ月ごとの目標を設定し、その内容を生活記録ファイルに貼って毎日確認している。 ・家族には見直しの後、電話で説明している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケアプランを元に実践ご利用者の状況を記録し、記録を通して情報を共有。記録を基に介護内容点検し、介護計画の見直しに、反映されている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	研修会、ミーティング開会し謙虚で柔軟な対応を心がける姿勢を持てる様努力し取り組んでいる。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	町内会や地域包括、近隣の方々、中学生等ふれあいを通し支援している。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	定期往診にて、医療支援あり。またご利用者様個々に合わせ、ご希望がある場合は外部受診を支援している。	・提携医は月2回の内科往診、歯科往診のほか月4回の訪問看護、歯科衛生士の口腔ケアや訪問リハビリなどにより、利用者の健康管理を行っている。 ・利用者の希望により、かかりつけ医からの受診も認めている。	

みんなの家・横浜金が谷

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	報告、連絡、相談体制の元確実に伝え受診や看護を受けられる様に表に記入し、支援している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	ホーム長対応。左記内容努めている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ご利用者様や家族の考え方を聞いておき、できるだけ希望に沿って支援。医療連携を取りながらまた、相談、連絡、説明しながら支援に取り組んでいる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・重度化対応の指針があり、病状にもよるが原則受入れは可能と入居時に説明している。</li> <li>・対応事例はないが、職員は資料で勉強をしている。</li> </ul>	重度化対応、看取り対応等について、職員の体系的研修受講を期待します。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	マニュアル設置あり。ミーティング研修実施。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	定期的な避難訓練実施し、職員一同で、避難時に備え学び問題点について追求し話し合っている。また町内会への協力依頼とお願い申し出ている。地域の消防士との連携あり。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間計画に基づき、年2回の避難訓練のほかAED訓練を行っている。</li> <li>・職員と、避難時の問題点の抽出を行い、町内会へも協力の申し入れを行っている。</li> </ul>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	ご利用者様のプライバシーを守ると共に分かりやすい言葉と行動1つに対して1つの言葉対応をしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員には採用時に個人情報守秘義務順守の研修を行なっている。</li> <li>・利用者の人格を尊重した言葉遣いに努めている。</li> <li>・個人情報の書類は施錠保管している。</li> </ul>	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	笑顔と優しい言葉かけと話や訴えを良く聴きご利用者様を常に分かろうとし、自己決定できる様働きかけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	話や訴えを良く聞き、体調など考慮しながら、一人ひとりのペースを大切にして支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	言葉かけとご利用者様の判断や御家族様の意向になるべく添いながら、おしゃれができる様支援。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	ご利用者様には自立支援を基本に実施し、個々に合わせ楽しみとなる様に努力している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者は気の合った人同士の席で楽しく食事をし、職員も一緒に食事をしながら楽しい話題を提供し、さりげなく介助もしている。</li> <li>・利用者はお茶入れや下膳を手伝っている。</li> </ul>	

みんなの家・横浜金が谷

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	刻み、一口大、トロミ対応など一人ひとりの状態や、力に応じた支援をしている。水分確保に関しては表を作り確認しながら実施。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	声かけ、見守りの中、介助にて毎食後実施。歯科医や歯科衛生士と連携をとりながら行なっている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	定時間の声かけ誘導にて、トイレでの排泄の自立支援実施。	・自立の人が多く、それぞれの様子を見て声掛けをしたり、時間を決めて誘導したりしている。 ・声掛けや誘導により、リハビリパンツから布パンツに移行した人もいる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	バナナ・牛乳等の食品で予防に取り組んでいるが、薬使用対応の時もある。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	体調や血圧等を考慮しながら、一人ひとりのタイミングを見て、声かけ誘導支援。	・入浴は原則週3回とし、季節にはゆず湯、菖蒲湯で楽しんでいる。 ・1階にはリフト浴、2階は家庭のような個浴があり、利用者に応じて使用している。	

みんなの家・横浜金が谷

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日常生活習慣の尊重しながら体調管理上、状況に応じて休息したり、眠れる様支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方薬内容をファイルにて管理し、常に確認できる様また理解する様努めている服薬支援は、見守りの中二人体制確認の基支援に努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	日常生活習慣の尊重と残存機能の活用しながらその人らしく満足感、幸福感のある生活を送れる様支援を心がけている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	心身のレベル低下に伴い、安全・安心確保を優先、困難なるも出来る範囲内での支援に極力努力している。	・天気のよい日は、近くの神社などに散歩に出掛けている。郵便局、コンビニ、花屋などに行く人もある。 ・事業所の行事で、バス、タクシーでズーラシアに出かけたこともある。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	個々にお金を所持、(管理)することは、困難である。しかし、施設側管理の元、希望に応じて使える様支援している。		

みんなの家・横浜金が谷

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	職員見守りの中、支援しています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	日常生活が、自立できる様に整備に努め冷暖房、換気、日照に配慮し生活感や季節感を採り入れたレイアウトなど、工夫に努めている。	・居間、廊下は広く明るく、室内は空調と加湿器を使用して、快適な環境を保持している。 ・壁にお雛様や行事写真が貼られ、テーブルに職員と利用者で活けた花があり、アットホームな雰囲気になっている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ご利用者様同士または、一人ひとりで思い思いに過ごせる様フロア等の雰囲気作りをしている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	日常生活習慣の尊重し自立できる様に、安全性を確保しながらご利用者様が居心地良く、過ごせる様に工夫している。	・居室には洗面台、ベッド、箆笥、ロッカーが備付けてある。 ・椅子、テーブル、テレビ、仏壇、人形や写真など自分の好みの物を持ち込んで、居心地よい生活をしている	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	見守りの中、声かけ等にて安全確保しながら日常生活が自立できる様に残存機能の活用への援助に工夫している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「必要な人に必要なサービスを」という理念にスタッフ全員で前向きに取り組みカンファレンス及びミーティングを行い話し合いをしながら各ご利用者様に応じての対応を考え実践につなげるように努		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	散歩に出かけ、挨拶を交わしたり会話ができる様に常に心掛け交流している。またボランティアの方が見えてご利用者様と一緒に踊りをされたりお菓子作りをされたりして交流している。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	認知症の方々に出来る限り近くの方々とのふれ合いを持ち、神社のお祭りなどに出かけ理解を深める努力は、している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	ミーティング・カンファレンスなどで意見交換したり報告などを蜜に行いながら理解をし、実践とサービス向上につなげている。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	ホーム長が連絡を取られ協力関係を築いておられ取り組みは、みられる。		

みんなの家・横浜金が谷

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束など正しく理解し「身体拘束をしないケア」を心がけ、日頃、スタッフ全員で話し合い予防など、絶対にしないように取り組みし実施している。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	月1回のミーティングなど学ぶ機会を持ち、良く話し合いスタッフ全員で言葉がけ等にも注意しながら、また、絶対しては、ならない事、見過ごさない様に注意を払い防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	管理者が事業所などで話し合われた事を個々に伝えられ一人ひとり学ぶ事ができ、活用出来るよう支援している。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約に関しましては、管理者の方がお話されますが出来る範囲で説明しご利用者様や御家族様の不安・疑問等には、話し合い、理解と納得が得られるよう、図り、努力をしている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご利用者様のクレーム・意見・要望など管理者が家族会にてご家族様と話し合う機会を設け、すぐに職員に伝え、一緒に考え運営に反映していると思う。		

みんなの家・横浜金が谷

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員の意見などすべて反映を努力していると思う。元に社長よりお祝いを手にされた方もいる。(反映されてる)		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職場の環境や諸条件等の整備に努めているが、「給与水準・労働時間は、何とも言えない」と言っている職員も少なからずいる。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	自社の研修機関を持っており、管理者や職員が色々な研修を受ける機会を設け、働きかけしています。外部の研修の案内も随時している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	交換研修などの交流機会作りとサービスの質を向上に取り組み、勉強会などの活動にも取り組みをしている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	常に耳を傾けながらご利用者様の安心確保にスタッフ一同心がけ努めている。		

みんなの家・横浜金が谷

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご利用者様や御家族様の要望第一に考え常に耳を傾ける姿勢と関係作りに心掛け、努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	管理者中心とした話し合いの中で、御家族様とのコミュニケーションを密に取りサービス利用も含めた対応に努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	心を添え介助し、ご利用者様に合わせ、出来ること、出来ないことを見極めた上で押し付ける事なく、良い関係を築き共に支え合っている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	行事等にご家族様に来て頂いたりして面会の機会を作っている。ご家族様との絆は、切れないものなので大切にしながら支援・介護している。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	時折、馴染みの方が訪ねてくださったりしている。また、ご利用者様が昔の話をして下さることに耳を傾け、聞き関係を保つことに努めている。		

みんなの家・横浜金が谷

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	心がけ・声かけに努め気の合うもの同士がスムーズに日々、穏やかに過ごして下さることを考えながら支援に努めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス終了後も、連絡がある場合は相談や支援対応している。		
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	カンファレンスなどで思いや意向を探り検討し把握し、利用者本位に対応している。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	生活環境・サービスの経過等の諸書類などに目を通し、出来るだけ生活習慣を否定せず受け入れ努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々、変化するので把握に努め、毎日の過ごし方、心身状態を見過ごすことのないよう努めている。		

みんなの家・横浜金が谷

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	モニタリング・カンファレンスなど行い、話し合いや意見を出し合い現状に応じたプランを作っている。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日、個別記録・申し送り記入し職員同士で情報を共有し見直しに努め、個々のモニタリングに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	日々、勉強しながらその時々々のニーズに即、対応できる様取り組みながら支援している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	町内会や地域包括、中学生、隣の畑で農作業されている方等、ふれあいや関りを通し支援している。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	定期的にかかりつけ医の往診医療を受け、外部受診などご家族様の希望第一に考慮し支援している。		

みんなの家・横浜金が谷

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	医療連携看護師との情報や気づきなど相談・申し送りしながら支援している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	日頃の様子等、資料など整え受診し病院関係者の方にアドバイスを頂きながら相談に努めている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	「どうあるべきか」など早い段階からご家族様と方針を共有し、共に支えあっていると思う。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	応急手当や対応、手順など会議などで話し合い指導を受け、身につけ努力している。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	地域の消防署の協力のもと避難訓練を行い、火災時、水害時など方法を身につけるよう努力してる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	介護職として一人ひとりのプライバシー確保に努め人格尊重・誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常の中、手伝い、本人希望申し出などご利用様が何でも話しかけやすいよう、笑顔を心がけスタッフ一同努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	相手を尊重しご利用様のペースを大切に対応するもスタッフ人数により希望に添えない時もあります。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	要望に耳を傾けその人なりの身だしなみなど支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	出来ることは、声かけにて食事準備及び片付けをやって頂き、見守りながら支援している。		

みんなの家・横浜金が谷

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりの状態や状況、習慣に応じたきめ細かな支援をしている。また、水分に関しては表に記入欄を設け全職員が把握し支援している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じ見守りにて自立及び介助にて支援している。医療連携の歯科医・歯科衛生士と連携をとりながら支援。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人ひとりの力に合わせ自立に向けた支援に努めている。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	個々に応じた予防に取り組み排泄パターンに合わせトイレ誘導を行ない働きかけに努めています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	一人ひとりの希望、タイミングに合わせて支援に努めている。		

みんなの家・横浜金が谷

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて休息したり安心して気持ちよく眠れるよう行い支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	用法や用量について理解し服薬時に症状の変化や間違いのないよう確認している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	主婦ならではの掃除、盛り付け、食器洗い、洗濯干しや毎食前の養命酒の飲用、レクリエーション・散歩・外気浴等気分転換など積極的に支援している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	一人ひとりの希望に添って行なわれ、時にご家族様の力をお借りしながら室外に出かけ外の空気にふれるよう支援している。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご利用者様がお金を所持していないが、ホームで預かり希望時には力に応じ財布にお金を入れお渡しし、見守りの中支払いをしている。		

みんなの家・横浜金が谷

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご利用者様、自ら電話したりご家族様よりの電話などご利用者様に取り次ぎなど支援をしている。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	生活感・季節感がどなたにも感じて頂けるように飾りつけ等を一緒相談しながら行っている。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	日々、利用者様の一人ひとりの状況や様子の把握に努めご意向に添った居場所の提供をしている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	思い出のタンスや仏様等を置かれたりして、ご利用者様ご本人が安心して居心地よく過ごされるよう配慮・工夫している。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	出来ること、わからない事を活かし自立した生活が送れる様に工夫している。		

# 目標達成計画

事業所名

みんなの家横浜・金が谷

作成日

平成23年5月2日

## 【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	18	職員によって、利用者に対する接遇スキルに開きがあるという指摘がある。	全ての職員が、ご利用者様が、長い歴史を歩んだ上で、このホームで生活している事を認識し、適切な接遇姿勢を身につける。	月1回のミーティングの時間を活用し、接遇に対する講習を開く。またケアプラン作成に職員の意見を盛り込むと同時に、職員がご利用者様の個人歴に改めて触れる機会を作る。	今後の職員育成における課題でもあり、『1年間』の長期的な期間が必要と考えられる。
2	19	ご家族様が来設された際に、職員が十分に普段の様子を伝え切れていない。また対応の仕方も、職員で開きがある。	御家族への窓口はホーム長が一举に受け付けてきたが、一般職員も御家族様への対応を担い、ご利用者様の情報提供を円滑に行なえる体制を目指す。	項目18の利用者への接遇向上と合わせ、ホーム職員としての、接遇姿勢のあり方を再度確認する。御家族への情報提供のあり方について、ミーティング等で討議する。	家族への関りを行うことに関しては、全職員の通達に1ヶ月かかるものと見られる。その後、随時対応に困惑した事例を用いて話し合う。
3	33	重度化や終末期の受け入れは原則的に可能であり、ご利用者様の希望に沿った支援を目指しているが、見取り対応に習熟した状態ではない。	現在の利用者様の状況を鑑みると、直近の課題ではないものの、いずれ受け入れ可能性がある事も考慮に入れ、職員が終末期ケアに向けて取り組める体制を目指す。	終末期ケアについて、ミーティング等で取り上げつつ、職員間で統一した見解を分かち合う。また関連した研修等が開催される場合は随時告知する。	見解統一についてはミーティングを重ね3ヶ月と見られる。その後研修の受講等でスキルアップを目指す。
4					
5					

注) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。